

令和2年度入学式式辞（全日制）

- 桜は人の心を春にし、咲き誇る菜の花は命の息吹を我々に伝えてくれます。
万物に新しい生命の躍動を感じる季節の中、晴れて長崎県立諫早高等学校生となった280名（諫早高等学校附属中学校生となった120名）の新入生の皆さん、入学おめでとう。皆さんの入学を在校生及び教職員一同、心から歓迎します。
- 今日という日を夢見て、これまで懸命に努力を重ねてきた新入生の感激はもとより、皆さんを励まし、支えてこられた保護者の方々の、お喜びも、さぞかし大きいことと拝察いたします。心からお祝い申し上げます。
- 諫早高校は、本年度百九年目、附属中学校は十年目を迎えます。中高一貫校としての歴史は浅いですが、一世紀を超える伝統の中で培われた「諫高魂」を胸に、素直でひたむきな生徒達が日々、懸命に学んでいる「楽ではないが、明るく、楽しい学校」です。この伝統はそれぞれの年代で先輩達が少しずつ積み重ねてできた物です。地域の人々の熱い支援と諸先輩の軌跡を胸に、これからの学校生活を謙虚に、そして懸命に励んでください。そして、君たちが新たな伝統を作ること大いに期待しています。
- さて、新入生の皆さん。いよいよ今日から本校の生徒として新しい生活が始まります。この記念すべき日にあたり、私の所感を二つ述べたいと思います。
- 一つ目は校訓である「自立創造」についてです。
 - 自立創造
高い志を抱いて自分の人生を自分の力で切り開く
これを自立と創造に分けて考えてみようと思います。
 - まず自立です。
他の助け無しで、一人で物事を行うこと。独り立ちすること。独立。
 - もう少し、詳しく見みましょう。
3つの自立があります。
 - ① 技能的な自立 勉強や仕事の能力、問題を発見・解決（解決策提案）できる
 - ② 経済的な自立 自ら稼いだ収入で生活できる
 - ③ 身体的な自立 健康な体づくり・身の回りのことは自分でできる「己を知り、他者を知り、自分を信頼する」これさえできれば自立できます
【自立している人の例】
 - ・ 自ら提案できる ・ 主体的に行動できる
 - ・ 客観的に見て、自分をコントロールできる
 - ・ 必要な時に助けを求める事ができる
 - 次に創造です
新しいものを生み出すこと
AI、グローバル社会では最も求められていること

もう一つの自律の話をしてします。

- 立つ自立ではなく、律する自律です。

自分自身で立てた規範に従って行動すること。

自律は内面的な独立を指す

【自律している人の例】

- ・ 自分を持っている人
- ・ 芯の通った人
- ・ ブレない人
- ・ 自分らしさを失わない人
- ・ 嘘をつかない人

もう一つの自律を意識しながら、校訓である「自立創造」高い志を抱いて自分の人生を自分の力で切り開いてもらいたい

自立創造

もう一つの「じりつ（自律）」を意識しながら

高い志を抱いて自分の人生を自分の力で切り開く

- 二つ目は、人間の器（うつわ）についてです。

あの人は器が大きい人だ：度量が大きい。全てを受け入れる包容力のある人。寛大な・寛容な・懐が深い・我慢強い。大義のために自分を犠牲に出来る。相手の失敗を許すことが出来る。

人間の器とは、人間の能力や人格の大きさを意味しています。

では、能力や人格は持って生まれた物でしょうか。

たしかに、運動能力が高い人、歌が得意な人、数学が得意な人、等 生まれながらにして、人は個性を持っています。人間の能力はある程度は生まれ持ってきているのかもしれない。しかし、それだけでその人の器の大きさが決まるものではないでしょう。

ここからは、君たちの想像力を働かせて下さい。

君たちの器はどのような器ですか。また、どれくらいの大きさですか。

チョットイメージが付きにくいので、少し狭めよう

- 部活動・勉強・趣味のどれかを選んで、その器にしましょう。

両手でその器を作ってください。

水を入れます（努力という水です） 今までの努力を考えて入れて下さい

自分の器に対してどれくらい入りましたか？ ほとんどの人は8割ぐらい？

◎少し頑張って努力の水を満タンにしてみよう。【これがきつい・自分の限界に挑戦】

- ・もう少し頑張って、少し溢れるぐらい努力してみよう。
- ・溢れるのはもったいないので器の縁が伸びてきます。
- ・また少し頑張って溢れさせよう。また縁が伸びてきます。・・・・
- ・器がどんどん大きくなります。

◎努力の水を器の半分入れよう。【人にとっては楽な生き方】

- ・器は粘土みたいな物でできていると想像して下さい。
- ・上半分の縁はカラカラに乾いて、崩れていきます。
- ・少し小さくなった器には水が満タンですが、きついので、また水を半分にします。
- ・また、乾いた縁が壊れていきます。・・・・器がどんどん小さくなります。

◎どうですか、想像できましたか？ それでは、画像で見てください。

◎最初は小さな器です、「努力という水」を溢れんばかりに入れ続けると



◎逆に、「努力という水」を入れるのを怠ると



◎また、気合を入れて、「努力という水」を溢れんばかりに入れ続けると
最後にはこんなに大きな器になれる



- どんなに大きな才能や能力を持っていても、努力しなければ、せっかく持っていた才能や能力は、小さくなってしまいます。
反対に、最初は小さな才能や能力かもしれないが、コツコツ努力すれば、少しずつかもしれないが、大きくなる。という話です。
- 本校では学習・部活動・学校行事等により、努力という水を満タンにする様々な仕掛けや、校訓である「自立創造」の精神を養う仕掛けが数多く準備されています。しかし、実際に溢れんばかりの水を入れたり、心を養ったりするのは、君たち自身です。君たち自身のこれからの心構えや、姿勢にかかっています。
しかし、自分だけで水を入れ続けたり、心を養ったりすることは大変でしょう。不安でいっぱいでしょう。でも大丈夫です。君たちの周りには、友・先輩・先生方・保護者や地域の方々がいまいます。皆で支え合いながら頑張ることができます。人間は弱い生き物です。分かっているもなかなか実行できない事も多いですが、自分を律し、自分を意識的に変化させる事が出来るのも人間です。
- このたびの新型コロナウイルス感染症は、グローバル社会に生きる我々に、様々な課題を突き付けいます。数十年前ならば、ある地域だけで起こった風土病で終わったはずが、今のグローバル社会では世界的な流行となる。すなわちパンデミックを引き起こす。そして、今からこのようなウイルスによる現象は起こり続ける可能性があります。
- また、新型コロナウイルス感染症関連でたくさんの悲しいニュースを目にします。
感染者に対する差別や誹謗中傷、咳をしている人への暴言、ネット上でのマスクの高額転売、トイレトーパーに関するデマ情報での混乱等、同じ人間として、あまりにも悲しい出来事だと嘆いています。
- 日本、世界の社会が混乱し、様々な対応がなされていますが、今、我々にできる事は何でしょう、何かできるはずです。手洗い、うがい、マスク着用、3密状態（密閉、密集、密接）の回避等、身近な出来る事から着実にやっていく事が重要であり、加えて、新しいことを生み出す創造も必要です。そして、そこには、他人を思いやる心「他者理解」や自分を律する「自律」が大切だと思っています。
- 最後になりますが、春風の中に、新しい一步を踏み出す新入生の皆さんが、それぞれの目標に向け、自分の器に溢れんばかりの努力という水を入れ、同時に自分を律しながら、校訓である「自立創造」の精神を養い、高い志を抱いて自分の人生を自分の力で切り開いて行くことを祈念して式辞といたします。

令和二年四月八日

長崎県立諫早高等学校・諫早高等学校附属中学校長
原 田 尚 之